

1年生の一日

1年生は、コース共通混成クラス編成で機械・電気・情報の専門科目の基礎と一般科目を学びます。専門科目よりも一般科目を多く学びます。

ものづくり実験実習では10人程度のグループに分かれ、自らの手を動かし実験実習を行い、体験的に学習することでものづくりの基礎を身につけます。この経験をもとに、2年生で進みたいコースを選択します。授業は90分です。休み時間15分・昼休み50分で、学生食堂や生協を利用できます。

放課後は校内塾やパソコン室を利用して、授業の復習や課題に取り組むことができます。また、委員会活動やクラブ活動も行っています。

		月	火	水	木	金
8:40~10:10 1限 2限	数学、物理、語学などの講義があります。	基礎数学 I	保健体育 I	ものづくり実験実習 	前期: 基礎製図 後期: 基礎電気工学	前期: 情報リテラシー 後期: プログラミング基礎
10:25~11:55 3限 4限	英語I 	国語 I	国語 I	国語 I	基礎数学 I	
11:55~12:45 昼休み	学生食堂や生協などを利用します。    					
12:45~14:15 5限 6限	地理歴史 I	化学 I	芸術	物理 I	保健体育 I (保健)	
14:30~16:00 7限 8限	基礎数学 II 		HR			
放課後	クラブ活動など クラブ活動、委員会活動などに取り組みます。					

一般科目的授業

専門科目的授業

卒業式・修了式

- 卒業研究発表会
- リーダー研修会(品川)
- 卒業式・終業式
- 春休み・クラブ春季合宿

- 入学式・始業式
- 1年生ガイダンス・オリエンテーション
- 定期健康診断

- 2年生校外教室(品川)
- 体育祭

1年生オリエンテーション

体育祭

1月

■後期末試験

2月

- 英語検定
- 冬休み

12月

- 2年生校外学習(荒川)、3年生文化行事、4年生校外研修(荒川)
- 関東高専総合体育大会
- 関東高専英語弁論大会
- 1・3年生校外教室、4年生校外研修(品川)
- 後期中間試験

1年間の行事(例)

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

- 2・3・5年生工場見学(荒川)
- 文化祭
- 1年生校外学習(荒川)



- 全国高専体育大会
- 関東信越地区高専文化発表会
- クラブ夏季合宿
- インターンシップ(4年生、専攻科)
- 夏休み

- グローバル・コミュニケーション・プログラム
- インターナショナル・エデュケーション・プログラム
- 後期授業開始

クラブ・同好会

5年一貫教育の高専生は、在学中、じっくりとクラブ活動に取り組むことができます。15歳から20歳以上の幅広い年齢層の学生たちが協力して、スポーツに、芸術に、専門分野のものづくりに取り組みます。この活動の中で学んだチームワークやリーダーシップの大切さは、社会人になっても活かせる財産です。

品川キャンパス

[スポーツ系]

- バスケットボール部
- 卓球部
- ソフトテニス部
- バレー部
- バドミントン部

- サッカー部
- 柔道部
- 剣道部
- 水泳部
- テニス部

[文化系]

- 吹奏楽部
- 硬式野球部
- ラグビー部
- 陸上競技部
- 弓道部

[技術系]

- 鉄道研究会
- 軽音楽同好会
- 謎研同好会
- 英語研究部

- 省エネカーリサーチ部
- プログラミング研究部
- 高専ロボコン研究部
- ロボカップ研究部
- モデリング研究同好会

荒川キャンパス

[スポーツ系]

- 陸上競技部
- サッカー部
- バスケットボール部
- バレー部
- バドミントン部
- 卓球部
- 柔道部
- 剣道部
- テニス部
- ソフトテニス部
- 水泳部
- 軟式野球部
- ワンドーフォーゲル部
- フットサル部
- スキー同好会
- ダンス同好会
- ボルダリング同好会

[文化系]

- 吹奏楽部
- 音楽部
- 民謡研究部
- 茶華道部
- 奇術部
- 折り紙研究同好会
- 数学クラブ同好会
- 将棋同好会

[技術系]

- 電気通信部
- 航空工作部
- 人力飛行機研究部
- 海洋環境研究部
- ロボット研究同好会
- 応用物理研究部
- 航空機整備同好会
- 鉄道ジオラマ同好会
- 自転車整備部

クラブ・同好会活動の詳細はホームページに掲載されています ►►►►►



コンテスト・イベント受賞歴

高専では、運動系のクラブや、音楽部・吹奏楽部・茶道部など文化系クラブのほかに、専門分野をいかした技術系のクラブ・同好会が活躍しています。その舞台は、NHKの放送で有名なロボコンをはじめ、プログラミングコンテスト・ロボカップ・鳥人間コンテストなど、日本国内のみでなく世界規模の大会もあります。

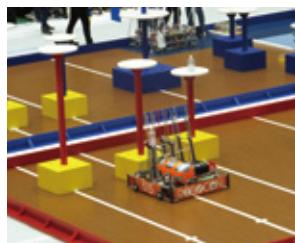


ロボコン史上初の 自動ロボットの課題をクリア

NHKで放送されている高専ロボコンに出場するために発足したクラブです。高専ロボコンには約30年連続でエントリーしています。

航空高専時代から全国大会常連校として有名で、優勝・準優勝やロボコン大賞・技術賞など多数受賞しています。

2018年度は、ロボコン史上初めて自動ロボットのテーマがお題されました。写真では分かりにくいですが、ライントレースの技術を使って目標のテーブルに近づき、ペッットボトルを投げテーブルに立たせました。難易度の高いテーマ設定であると感じ、一時期はエントリーチーム数を減らしたいとの意見も出ました。この困難な時期をチームワークで乗り越え、2チーム4台のマシンを作ることができました。このマシン4台で大会に参戦し、Aチームは準優勝・全国大会出場、Bチームは地区大会の最高得点を記録し、技術賞と特別賞のダブル受賞を果たしました。



全国高専デザコン 2022 AM デザイン部門で優秀賞を受賞！

—昨年2022年12月10日(土)、11日(日)の2日間で開催された第19回全国高等専門学校デザインコンペティション2022 in 有明のAMデザイン部門にて、本校高専デザコン研究部のチームが優秀賞を受賞いたしました。

AMデザイン部門は、3Dプリンタを活用した新しいアイデアを提案し競い合う部門です。今回は「新しい生活様式を豊かにしよう!」というテーマに対し、「ホジ保持ホジー」と題して、机の上などで思わずカップを倒してこぼしてしまう事を防ぐ新たなドリンクホルダーを提案しました。作品紹介のプレゼンテーションでは審査員へのアピールもしっかりとでき、見事受賞することができました。



高専デザコン研究部は過去にAMデザイン部門で最優秀賞(経済産業大臣賞)、プレデザコン部門の創造デザインフィールドで最優秀賞(JST理事賞)などの成果を残しています。



【完全優勝!!】 第28回全国高専 プログラミングコンテスト競技部門で 優勝!!

第28回全国高専プログラミングコンテストに品川キャンパスから競技部門に1チームが出場し、優勝(文部科学大臣賞を同時受賞)しました。また、作成したプログラムが評価され企業賞のDMM.comラボ賞も受賞しました。競技部門の内容は木で作られたパズルをいかに速く並べられるかを、作成したプログラムにより競う競技です。他のチームは出題者から出されたヒントを使って問題を解くプログラムを作りましたが、ヒントを使うと減点されてしまうため品川キャンパスチームはヒントを使わずに画像処理を使って問題を解くプログラムを作りました。その結果、1回戦から決勝まで本校だけが全て満点をとり、完全優勝となりました。さらに高専プロコンでの優勝の成果が評価されBCN ITジュニア賞を受賞しました。



第42回鳥人間コンテスト2019で 「THE BEST BIRDMAN賞」「彦根市長賞」をW受賞

人力飛行機研究部は、毎夏、琵琶湖湖畔で行われる「鳥人間コンテスト」に出場して記録更新することを目的に、1995年に創部しました。コンテストには1999年に初出場し、以後「Team ATR」と言うチーム名で、これまでに計19回、滑空機部門に出場しています。主に大学生や社会人が活躍する中、高専ならではの高い技術力を持つ最年少チームとして注目されており、2001年には滑空機部門3位に入賞、2013年にチーム最高滑空距離330.98m(大会順位4位)の記録を残しています。

2019年のコンテストでは、天候に恵まれない中、見事なフライトを成功させたことが高く評価され「THE BEST BIRDMAN賞」「彦根市長賞」の二つの賞を受賞しました。この勢いに乗り、次のコンテストで日々の記録更新、そして入賞を目指し、今も活発に活動しています。

